

2029年 義士堂建立 百年祭 プレイベント

堀部 浪曲 安兵衛 講談の会

赤穂義士・堀部安兵衛ゆかりの長徳寺にて、
講談と浪曲で安兵衛の物語をお楽しみいただきます。

曲師(三味線) 玉川鈴

浪曲 堀部 安兵衛 入り

赤穂源蔵徳初め別れ

浪曲師 国本はる乃

2026年

10月31日(土)

15時30分～17時15分

長徳寺本堂

新発田市大栄町二丁目七番二十二号

浪曲 堀部 安兵衛

まいああと

高田馬場軒けつけ

講談師

いち江

同日開催

義士堂 公開

13:30～15:15

義士堂・堀部安兵衛の
説明あり



新発田
武蔵会
TAKETSUNEKAI
SINCE 1913

一般 1,500円 武蔵会 会員 1,000円 [定員150名]

スマホでQRを読み込み申込みください。※当日、武蔵会入会の方も参加費が1,000円になります。

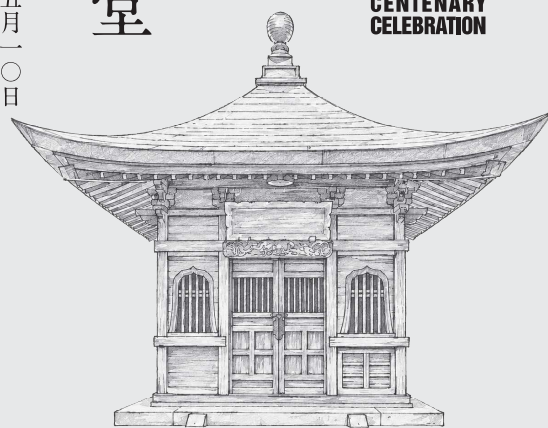
参加費は当日、長徳寺受付でお支払いください。

主催／武蔵会 共催／長徳寺 後援／新発田市 問合せ／武蔵会事務局(一社)新発田市観光協会内 TEL.0254-26-6789



申込QR

義士堂



明治四十五年五月一〇日

「義士銘々伝」で成功をおさめた

浪曲界中興の祖・桃中軒雲右衛門口演で

生誕地・新発田を訪れた時、

安兵衛・顕彰碑の計画があることを聞き

長徳寺に赴き、福岡の自宅に秘蔵する

四十七士木像の寄贈を申し出た。

その年の十二月十四日、富田精策、上野喜永次、

高橋静一郎の三人が武庸会の立上げを計画し、

翌年の大正二年二月四日「武庸会」が発足した。

四月十六日、高橋静一郎氏自ら

博多の雲右衛門の自宅に赴き

譲り受けた義士木像が新発田に到着した。

義士木像は迎えの三ノ町台輪に乗せられ、

高張提灯を先頭に武庸会、四十七士の装束の芸妓他

百数十の祭りのような行列で長徳寺に納められた。

昭和四年四月三日この義士の木像を納める

「義士堂」が完成し、十三代溝口直亮公の書を中心に

建設に賛同した後の元帥・陸軍大将武藤信義や

中将・少将、政治家では首相経験者の若槻禮次郎、

新発田出身の高橋光威、

芸術家では会津八一、相馬御風他の「書画」

六十点が格天井や壁に納められた。

武庸会では会員を募集しています

「浪曲・講談の会」当日、会場でご入会いただけます

武庸会とは？

新発田が生んだ赤穂義士・堀部安兵衛武庸。その人柄と功績を偲び、後世へ語り継ぐことを目的に、大正2年、市民の会として「武庸会」が結成されました。平成25年には結成100周年を迎え、現在も毎年12月14日に「義士祭」を執り行っています。

会員になると

- 毎年の義士祭、命日の法要などのご案内
- 堀部安兵衛に関する歴史資料やイベント情報の提供
などを通じて安兵衛の顕彰活動など、会の活動にご参加いただけます。

年会費
3,000円

武庸会に入会いただくと、「堀部安兵衛 浪曲講談の会」参加費が1,000円になります。

お問い合わせ

武庸会事務局（一社）新発田市観光協会

〒957-0053 新発田市中央町3-2-22 松縁館ビル1階(市役所前・旧北越銀行)

TEL.0254-26-6789 FAX.0254-26-5031 ✉ kanko@shibata-info.jp

キリトリ

武庸会 入会申込み

氏 名	ふりがな
住 所	〒
電話番号	